

WWWブラウザ

Hot Line Vol.2



THIS MONTH'S TOP NEWS

ネットスケープコミュニケーター 5.0 ついにソースコード公開開始!

先月から始まったこのコーナーだが、早くも2回目にして大ニュースを扱うことになった。ネットスケープ社がついにコミュニケーター 5.0 のソースコードを公開したのだ。これにはプログラマーでなくても注目している読者は多いだろう。今月はこのほかに、新製品やバグフィックスの話題もお届けする。

公開されたソースコード

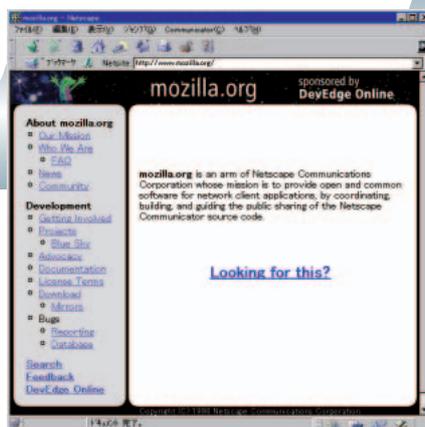
米国で3月31日(日本時間4月1日)、ネットスケープ社はかねてから予告していたとおり、次期コミュニケーターのソースコードを開発者コミュニティのためのサイト「mozilla.org」で公開した。サンフランシスコでは、ソースコード公開を祝う「mozilla.party」と題するパーティーが行われ、熱気に包まれたという。

公開されたソースコードの内容は、ナビゲーターおよびコンポーザー、オートアドミンのみで、メッセージャーとコラボラの公開は後回しとなった。また、他社の手によるJava関連の部分や、暗号にかかわるSSLのソースは公開されない。それでも3000個以上、約40Mバイトのファイルで構成されている。

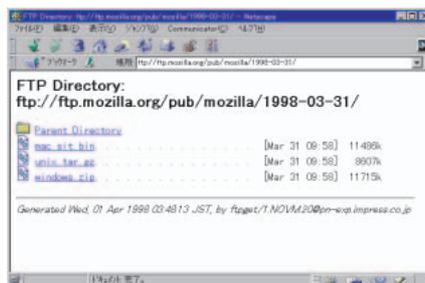
世界中の開発者が作る コミュニケーター 5.0

一般ユーザーがすぐにコミュニケーター5.0を使えるようになるわけではない。公開されたものは、インストーラーが付いたバイナリコードのプログラムではない。あくまで

開発者向けの未完成なソースコードだけだ。ネットスケープ社は開発者がソースコードを利用する際の規約を「Netscape Public License」(NPL)で定めている。コミュニケーターを改造したり、別のプログラムの中にコミュニケーターの機能を埋め込んだりする開発者は、このNPLに同意し、自分が作ったプログラムのソースコードもまた公開することが義務づけられる。こうして世界中の開発者がソースコードに取り組み、公開することで、コミュニケーターの性能向上、バグフィックスが迅速に行われる。それがネットスケープ社の狙いだ(早くも4月9日にソースコードのバージョンアップが行われた)。ネットスケープ社は今後、開発者コミュニティによって作られたプログラムをもとにコミュニケーター5.0の製品版を作る予定だ。製品版の発表時期は未定であり、どれだけ開発者の協力が得られるかにかかっている。公開されたソースコードは、UNIX、マッキントッシュ、ウィンドウズ95/NT版だけだが、他のOSへの移植を目指す動きも始まった。すでにBeOSやOS/2 Warp用のコミュニケーターを開発しようというグループが誕生している。



開発者コミュニティの中心となる mozilla.org (http://www.mozilla.org/)



mozilla.orgのFTPサイトからだれでもソースコードを自由にダウンロードできる。

ソースコードをコンパイルするには

ダウンロードしたソースコードをコンパイルするには、以下の環境やソフトが必要だ(ウィンドウズの場合)。

- ・約500Mバイトの空きのあるハードディスク
- ・ウィンドウズNT 4.0
- ・Microsoft Visual C++ 4.2以降
- ・若干のGNU ツール

Visual C++ からではなく、コマンドプロンプトからツールを呼び出してコンパイルしなければならず、それなりの知識が必要になる。マニュアルによれば、コンパイルにはPentium 266MHzのマシンで30分かかるとのこと。

これがmozilla.exeだ!

新バージョンが待ちきれないという読者のために、コンパイル後にできる「mozilla.exe」を紹介しよう。起動して最初に表示される画面は、テストのためにプログラマーが落書きしたような絵だ。起

動後のブラウザで目を引くのは、ウィンドウの左に表示されるインターネットエクスプローラふうのツリー画面で、「Navigation Center」と呼ばれている。ここからブックマークや履歴、ローカルのファイルを読み出すことができ、強力なカスタマイズ機能を持つようだ。ただし、現段階ではブックマークしか表示されない。Navigation Center 以外には、コミュニケーター4.0と目立った違いはなかった。

プログラムはまだまだ不安定で、頻りにハングアップするが、これから世界中の開発者によってバグフィックスが行われていくのだろう。



社内テスト版が外部に出たという感じの起動画面



ウィンドウ左のツリー画面が目を引く。アニメーションロゴは、「1」「2」……という数字が表示されるだけ。

★★★コングレツト TOPICS!★★★

英語版ウィンドウズで日本語メールが書ける Internet Explorer IME 4.0 公開

英語版など、日本語環境が使えないウィンドウズ95/NT上で、インターネットエクスプローラとアウトLOOKエクスプレスの日本語表示および入力を可能にする「Internet Explorer IME 4.0」が公開された。日本語の表示をサポートするモジュールはこれまで公開されていたが、入力までできるのは初めて。ビジネスや留学などで海外に在住し、日本語ウィンドウズの入ったパソコンを使えない人でも、これさえインストールすれば日本語のメールを書いて送ることができる。なお、韓国語の表示や入力も可能となっている。

URL:
<http://www.microsoft.com/ie/ie40/?ie/ie40/ime.htm>

ネットスケープコミュニケーター 4.05 にバージョンアップ

バージョン5.0のソースコードが公開される一方、細かいバージョンアップを重ねてきた4.0のネットスケープコミュニケーターはバージョン4.05となった。本誌の付属CD-ROMにも収録されている。主な変更点は、ユーザーの設定情報をサーバーに取得されてしまうバグ(「Preferences Bug」)などプライバシー関連のバグフィックスのほか、Javaの起動速度の改善、Cosmo Player 2.0 (VRMLのプラグイン)のバージョンアップなどだ。また、JDK1.1対応のJava VMを含んだコミュニケーター4.05のプレビューリリースも公開されている。

URL:
<http://home.netscape.com/>

インターネットエクスプローラ EMBED タグ問題の修正モジュール

悪意のあるサイトがEMBEDタグを使ってインターネットエクスプローラをクラッシュさせることができる問題に対し、マイクロソフトは修正モジュールを公開した。修正対象となっているバージョンは、各OS用の4.0、4.01のほか、マッキントッシュ版の3.0、3.01。ただし、ダウンロードできるのは英語版で、日本語版がいつ公開されるかは未定(4月10日現在)。

URL:
<http://www.microsoft.com/ie/security/?ie/security/embed.htm>



CD-ROM 収録先
Win Netscape



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp